

## ICU等の増床計画について

### 1. 増床の必要性

#### (1) ICUについて

医療センターのICUは、平成6年に8床の救命救急ICU、CCUが救命救急センター開設と同時に稼働を開始し、その後、平成25年には7床のACUを開設し、重症救急患者への対応を行ってきた。

一方、現在の医療センターのICU機能は、救急患者等の受入態勢に限界が生じており、救急受け入れが困難なケースも発生している。また、入院患者に対応する一般ICUが確保できておらず、高度急性期病院としての設備が十分とはいえない。

そのため、新病院ではICUを増床し、現在受け入れが困難になっている救急患者など、重症度、緊急度の高い患者のさらなる受け入れを目指していく。

#### (2) SCUについて

SCUは、脳卒中急性期の、病態が不安定な時期に高度な集中治療を行う病床であり、医療センターでは、平成26年に6床のSCUを開設し、平成29年9月には3床の増床を余儀なくされ、9床となっている。

医療センターにおけるSCUの稼働率は、病院全体の稼働率を大きく上回り、常に満床の状態が続いている。さらに、平成29年9月に6床から9床に増床した以降も、稼働率が高い状態が続いており、今後、SCU対象患者はさらに増加すると考えられる。

そのため、平成30年4月より脳神経内科を新設し、脳卒中センターとしての機能の強化を図るとともに、新病院においては、SCUを増床し、脳卒中患者のさらなる受け入れを目指していく。

### 2. 増床を申請した病床数

「医療法施行規則第30条の33」の規定に基づき、新病院における集中治療室等の増床申請を、千葉県に対し、平成30年3月9日付けで行った。増床を申請した病床は、18床（ICU12床、SCU6床）である。

	必要病床数 (A)	現在の病床数 (B)	増床を申請した 病床数 (A)－(B)
ICU	20床	8床	12床
SCU	15床	9床	6床
合計	35床	17床	18床